

## 利用者アンケート設計の考え方・結果の取りまとめイメージ・調査票（案）

- 目的

利用者参加制度（北アルプストレイルプログラム（仮））に対する利用者（登山者）の意識・意向を把握し、持続可能な制度運用にかかる改善点を検討すること。

- 仮説（アンケート調査から予想される結果）

- ・登山道維持の実態を知らない登山者は多い（理解度は低い）。
- ・実態への理解度が高い登山者ほど、参加度（今回の実験では寄付＆配慮行動が該当）が高い。

※検討を発展させていく項目（設問の優先順位は上記より低くなる）

- ・参加度（理解度）を向上させる方法。
- ・寄付金制度導入に対する利用者の意向。
- ・寄付金以外の形で考えられる有効な参加方法。

- 設問項目の概要

①登山者に関する現状把握

- －基本属性・登山実態
- －登山者は登山道整備の状況についてどのくらい知っているか。
- －今回、寄付を行ったか。
- －現在、どのような配慮行動をとっているか。

②寄付金制度導入に対し賛同が得られているか。

③登山者が参加しうる登山道維持とは何か。

- 調査方法

ウェブサイト上のアンケート調査による。

ただし、利用者の属性が偏ることを避けるため、一部の登山口においてカードの配布を行い、アンケート調査協力への積極的な呼びかけを検討中。

なお、呼びかけにおいて、実証実験に関する説明は実施するが寄付への積極的な呼びかけは行わない。また、現場での紙媒体による聞き取り調査については、新型コロナウイルス感染症対策を鑑み慎重に判断したい。

【場所】（１）横尾登山口（２）中房登山口（３）上高地登山相談所

※それぞれ番号順に優先順位の高い場所とする

【期間】（１）9/18～9/20、（２）9/23～9/26、（３）10/2～3、（４）10/9～10/10、

（５）その他平日

※それぞれ番号順に優先順位の高い期間とする

【時間】 早朝～夕方に実施し、各登山口において入下山の利用者を対象とする。

- 留意点

- ・利用シーズンをカバーし網羅的に調査することが望ましい。
- ・インセンティブ（回答に対する報償など）による働きかけを行うことが望ましい（制度に対する強い考えを持つ層以外の利用者にも幅広く働きかけるなど）。

## 北アルプス南部地域の登山道維持管理のための 登山者アンケート

北アルプス登山道等維持連絡協議会では、北アルプス南部地域の登山道を持続的に維持管理するため、管理に係る費用の一部を登山者の皆様にもご負担いただく仕組み（利用者参加制度）の導入を検討しています。この調査は、利用者参加制度に対する皆様のご意見をお伺いすることを目的に実施しております。回答結果は集計されたもののみを用いますので、個別の回答内容が公表されることはありません。どうぞよろしくお願い致します。

調査委託先：（公財）日本交通公社 安原・武智・那須  
MAIL: chubuNPs\_kentou@jtb.or.jp TEL:03-5770-8379

※（公財）日本交通公社における個人情報の取り扱いについての詳細は、HP (<http://www.jtb.or.jp/>) をご覧ください。

### ◎ 北アルプス南部地域の登山道の維持に関して生じている問題について皆様におうかがいします。

Q1. 北アルプス南部地域では、行政機関だけでなく、民間の山小屋が登山道の維持管理\*の役割を担っていることをご存知でしたか。（1つだけ）

\*「登山道の維持管理」とは、毎年の維持作業（倒木の撤去等）、大掛かりな補修作業（木道の更新、石積み）を指します。

- 詳しく知っている    大体知っている    どちらともいえない  
 あまり知らない    まったく知らない

Q2. 現在、登山道の維持管理に必要な費用は、行政などの予算の範囲内では賄いきれない状況です。この不足分を、民間の山小屋が収益の一部から負担して、登山道を維持していることをご存知でしたか。（1つだけ）

- 詳しく知っている    大体知っている    どちらともいえない  
 あまり知らない    まったく知らない

Q3. 近年、自然災害の多発や新型コロナウイルス感染症の流行など自然環境変化や社会環境変化の影響により、山小屋の経営状況が悪化しています。このことにより、これまでのような登山道の維持管理ができなくなる可能性が出ていることをご存知でしたか。（1つだけ）

- 詳しく知っている    大体知っている    どちらともいえない  
 あまり知らない    まったく知らない

Q4. 登山道の維持を持続可能な制度に変えていくために、登山者の皆様にご協力いただける行動は複数あげられます。あなたは、どのくらい協力してみたいと思いますか。（それぞれ1つだけ）

行動	選択肢
1：登山道維持のために継続的に少額の寄付金を支払う	<input type="radio"/> とても協力したい
2：クラウドファンディングのように一定の事業成果をゴールとしてある短期間に募金をする	<input type="radio"/> やや協力したい <input type="radio"/> どちらともいえない
3：登山道や木道を踏み外さないようにする	<input type="radio"/> あまり協力したくない



Q9. 【支払った方のみ】今回、どの方法でお支払いいただきましたか。

- クレジットカード決済  現金振込  山小屋に設置された寄付金箱への現金支払い

Q10. 【支払った方のみ】支払った理由は何ですか。(いくつでも)

- 登山道がなくなると困ると思ったから  
 山小屋を支援したいと思ったから  
 登山者として当然だと思ったから  
 登山道の維持に貢献したいと思ったから  
 強制だと思ったから  
 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

Q11. 【支払わなかった方のみ】支払わなかった理由は何ですか。(いくつでも)

- 登山者が支払う必要はないと思ったから  
 受付に係員がいなかったから  
 任意の寄付金だから  
 実証実験だから  
 金額（一口 500 円）が高いから  
 気付かなかったから  
 支払い方法が分からなかったから  
 オンライン決済、現金振込ができないから  
 使い道がわからなかったから  
 登山道以外に使ってほしいから  
 トイレチップなど他の仕組みに協力したから  
 現状に満足しているから  
 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

◎北アルプス南部地域における寄付金のお支払いについてお聞かせください。

Q12. あなたが登山を行う際、寄付金を支払いやすいと思う方法を教えてください。(いくつでも)

- 収受員に対面で支払う方法  
 寄付金箱に現金を入れる方法  
 クレジットカード決済  
 決済アプリ  
 銀行振込  
 支払いたくない  
 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

Q13. 実証実験では一口 500 円のお支払いをお願いしていますが、本格的に導入された場合の金額は決まっていません。あなたは、1 人いくらまでなら支払っても良いと思いますか。(1 つだけ)



Q22. 今回、どのような形態で登山をされましたか。

- 個人旅行（交通・宿泊等を自分で手配）
- 旅行会社の登山ツアー
- その他

【登山をしていない・旅行に来た方】

◎ 今回の旅行についてお答えください。

Q23. 開始日・日数

( ) 月 ( ) 日 / ( ) 泊 ( ) 日

Q24. 同行者

- 1人で
- 友人・知人と
- 夫婦・恋人と
- 家族で
- 仕事仲間と
- 地域の団体や趣味のサークルで
- その他（具体的に： )

Q25. 今回、どのような形態で旅行をされましたか。

- 個人旅行（交通・宿泊等を自分で手配）
- 旅行会社のツアー
- その他

◎ あなたご自身についてお答えください。

Q26. 性別（ひとつ選択）

- 男性
- 女性
- その他

Q27. 年齢（ひとつ選択）

- 10歳未満
- 10～19歳
- 20～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～69歳
- 70歳以上

Q28. お住まい

( ) 都・道・府・県

その他 ( )

Q29. 職業（ひとつ選択）

- 会社員・公務員
- 自営業
- 無職
- 学生
- その他 ( )

Q30. 登山歴（ひとつ選択）

- ほとんどしたことがない
- 1年未満
- 2～3年
- 4～5年
- 6～9年
- 10年以上

【登山歴ありの人のみ】

Q31. 登山レベル（ひとつ選択）

- 初心者（山登りをしたことがある、これから始める）
- 初級者（たまにハイキング程度の登山をする）
- 中級者（一人で登山計画を立て、安全に登山できる）
- 上級者（バリエーションルート、ザイルを使うことも可能）

Q32. 登山頻度（ひとつ選択）

- 年に1回未満
- 年に1回程度
- 年に2～5回
- 年に6回以上

Q33. 北アルプス南部地域の登山経験（ひとつ選択）

- 初めて
- 2回
- 3～5回
- 6回以上